



# 学校だより

10月

令和2年9月30日  
横浜市立能見台南小学校



← 学校ホームページ  
QRコード

## 前期を振り返って

副校長 馬場 弘子

もうすぐ前期が終わります。4月、5月は臨時休業でした。6月になって分散登校が始まり、全校生が登校したのは、6月15日からでした。7月1日から待ちに待った給食が始まり、ようやく午後の授業が再開されました。8月1日から16日間という短い夏休みがあり、10月を迎えます。前代未聞の異例続きの学校の中、子ども達は様々な活動をしてきました。

1年生にとっての初めての給食は、全員前を向いて、黙って静かに食べることでした。楽しく会話をしながら食べることも大切ですが、食べている食材と向き合い「今日は何が入っているのかな?」「おうちでは食べられなかったけど、給食では食べる事ができました。」など、静かな食事の良さを感じることができたのではないのでしょうか。毎日給食の時間は、放送委員会が準備したクラシックが流れます。「ほら、高級なレストランで食事をしているみたいでしょう。」担任の言葉に微笑んでしまいました。8月に5組は校内体験学習を行いました。教室に暗幕をかけ、プラネタリウムの疑似体験をしました。家庭科室でお湯を沸かしてそれぞれが持ってきたレトルトカレーを温めて、ソーシャルディスタンスに十分に配慮しながら簡単な食事をとることができました。9月に入り、2年生はまちたんけんに出かけました。やっと校外での学習が始まりました。安全面に十分に配慮しながらも、子ども達は友達と出かけた公園でたくさんの発見をしました。いつも行っている公園も視点を与えることで多くを学ぶことができます。「発見したものを友達に教えよう!」というめあてをもって活動しました。人に伝えることで、より学習が深まります。3年生は理科の学習で植えた1個のひまわりの種から、1260個もの種ができたことに驚き、生命の神秘に触れることができました。また、10個のまとまりを作って数え、さらには、この種を来年、全部植えたら何個になるのだろうか子どもたちの思いが膨らみます。これは、算数の大きな数の学習にもつながります。4年生は清掃工場への見学はできませんでしたが、本校の技術員と栄養教諭をゲストティーチャーに招き、学校のごみの行方について学習しました。学校に来るごみ収集車や給食室から出る生ごみを回収するところを見学しました。5年生の図工ではグループでタブレットを使い、物語を作っていく授業がありました。起承転結を考え、自分たちが準備した道具を使って作品を作っていきます。時代の変化に合わせて、教材も変わってきていると強く感じました。慣れた手つきでタブレットを操作し、それぞれの思いを表現しました。6年生は修学旅行に向けて準備をする傍ら、南小オリンピックの準備も始まりました。最高学年として大きな行事に対して、責任をもって活動しようとする姿は、他学年の手本となります。

今までとは違った環境の中でも、子ども達が生き生きと学ぶ姿を多く見る事ができました。さらに子ども達は、今年一年「こんなことを頑張りたい。」「こんなクラスにしたい。」という、それぞれの思いをもとに学級目標を作り上げました。掲示物も力作ぞろいです。どんな状況下でも、希望をもって、意欲的に学ぼうとする子どもたちに私たちも勇気づけられます。

南小オリンピックでは、こんな子ども達の頑張っている姿をお見せできないのが残念でありませんが、さらなる感染防止と児童、そして、保護者の方、地域の皆様の健康と安全を守るためにご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。